【資料2】

令和6年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議における
意見と検討状況について

【意見交換】

各委員から出た、意見や提案等を以下のとおり箇条書きで示す。

☆【テーマ】 スポーツとの出会いの場の充実について

【各委員から出された意見や提案等】

- 1) スポーツは、子どもたちにとって健康のために身体を動かすためのものではなく作戦を練る、チームプレイ、協調性の大切さを学ぶ場でもある。
- 2) 子供たちが一番楽しいと思う運動は、ドッジボールやビーチバレーのような「ボール遊び」。
- 3) 体育の授業でボール遊びが楽しかったら地域のクラブに参加しようと思う。
- 4) 我が子が興味を持てば、親もスポーツクラブや少年団の見学や体験をさせる。
- 5) 子どもや子ども会に関するスポーツ競技やイベントの案内が少ない。モルックやBMX等の競技の紹介やご案内を子どもたちにして欲しい。
- 6) 9年を一つの単位とし縦長教育が今後リーダー性を育むうえで重要視される。
- 7) 高齢者の中には、「子どもたちや若い人からパワーをもらえる」とボランティアとして参加。
- 8) 地域全体でスポーツを楽しむコミュニティースクール、地域の学校共同活動、放課後子ども教室などで縦長の繋がりの中で成長し合うのが理想。
- 9) スポーツという言葉の捉えかたの変化を我々も理解が必要。
- 10) ネーミングが重要。
- 11) 費用対効果の優れているイベントが重要。
- 12) 世代によるPRの仕方が必要。
- 13) マイナーな競技の選手は認知度が低い。

【意見集約】

各委員から多くの貴重な意見等が出された。まとめると、「スポーツとの出会いの場の充実」については、誰もが進んで体を動かすようになるために、家庭や地域、学校などの身近な場でのスポーツ活動を推進していくことが必要である。また、参加しやすくするため、ネーミング、世代によったPR活動及びコストパフォーマンスが重要である。そして、一人でも参加しやすい工夫が必要である。